

会 議 録

会 議 の 名 称	朝霞市立朝霞第二中学校 第1回 学校運営協議会	
開 催 日 時	令和5年7月14日(金)午前10時00分から正午まで	
開 催 場 所	朝霞市立第二中学校 2階 図書室	
出 席 者	高橋岳生 富重 淳 勝瀬亮助 田原 亮 清水良樹 宮林信明 比留間 寿昭 土橋 徹嘉 欠席：高橋 直美 (司会・記録 滝田 真人)	
会 議 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・任命書交付 ・学校運営協議会の運営について ・会長・副会長の選出 ・学校経営方針の説明、承認 ・次回の学校運営協議会について 	
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会次第 ・朝霞市運営協議会規則 ・学校経営方針 	
会 議 録 の 作 成 方 針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管 (保存年限 年)	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後○か月
	会議録の確認方法 議事内容による確認	
そ の 他 の 必 要 事 項	傍聴者 0人	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1. 開会、諸連絡（教頭）

2. 学校長あいさつ

- ・本年度はコミュニティスクール3年目。一部委員を入れ替えての開催。
- ・学校経営方針の承認
- ・期待する本会議の役割

学校教育の課題として、子供たちを取り巻く環境の複雑化、多様化とともに、教育改革、地方創生等の動向が注目される。学校と地域の連携・共同が重要であり、生徒の豊かな成長のための社会総がかり的な取組の一つとして、本会議が熟議を通してその機能を担うこと。

3. 任命書交付

- ・新委員の任命書を読み上げ、手交する。その後、欠席者を除く全委員に手交する。

4. 自己紹介

5. 学校運営協議会の運営について

- ・朝霞市学校運営協議会規則に基づいた協議会の役割と内容の確認
- ・運営協議会委員の身分について
- ・本会議の傍聴について
- ・会議録の公開について

6. 会長・副会長の選出

会長：田原 亮 様 副会長 欠席者もいるため次回選定

7. 学校経営方針の説明、承認（学校経営方針資料）

・学校概要説明

新入生279名、生徒総数753名、22学級、教職員6名でスタート。
来週、終業式があり、1学期を滞りなく終えることができそうである。

・学校経営方針説明

（1）「教育は未来づくり」一人一人の大切な未来が輝けるものとなるよう、日々の教育活動にあたる。

（2）組織体として5つのワークを合言葉に、一つの同じ熱い気持ちで、方向を向いて組織力を高め、お互いがフォローし合い、認め合えることを大事にする。

（3）日常の学校生活は「凡事徹底」を貫き、凡事一流へ、当たり前のことが当たり前に見える学校を継続する。

（4）校務分掌組織を活性化し、PDCA サイクルによる教育計画の実施を図る。前年度を単に踏襲することなく、学校経営への参画当事者として、常

に英知を結集して取り組む。

(5) ワークライフバランスを意識し、働きがいのある職場づくりを進める。業務内容の見直しとともに業務削減を進める。

※学校経営方針について承認を受ける。

8. 協議(熟議)

- ・周年行事(60周年)が控えているが、区切りの50, 100, 150は大々的にやれるといい。40周年はやっていない。
- ・二小は150周年。外部に募金を依頼したり、内部で吹奏楽や講演会など運営協議会委員の意見を聞いたりしながら進めた。
- ・やることはやぶさかではないが、10周年の周年行事でいいのではないか。
- ・先生方の困っていること、教職員の意見を吸い上げ、教職員を交えて熟議を行いたい。先生方の顔と名前が半数くらいしか一致しない。生の声を伺ってから、協議会としてできることはやっていきたい。
- ・コロナの影響でコミュニケーションがなかなかとれなかった。まずは先生方とのコミュニケーションを計画的に、1~2年のビジョンを持って協議を重ねられるといい。
- ・地域が学校の要望を実現していくためには、地域人材をよく知り、まとめられ、紹介することができるコーディネーター的な人がほしい。
- ・地域人材は、1校だけで探すのは難しいため、市に協力を仰いだり、校区の小中学校が連携し、情報の共有を図れるような、「二中校区コミュニティスクール」が実現できると、人材確保も進むのではないか。

9. 次回の学校運営協議会について

- ・令和5年10月28日(土) 土曜参観の日を予定

10. その他(諸連絡)

- ・本日はありがとうございました。

11. 閉会の言葉(教頭)